

キャラクター名  
狂須 麗奈

プレイヤー名

シンドローム	キュマイラ	ワークス	高校生	カヴァー	高校生
	キュマイラ		年齢		16
オプション					
覚醒	無知	衝動	破壊	初期侵食率	31 %
出自	疎まれた子	経験	トラウマ	邂逅	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	35
肉体	6	1	0			7	行動値	3
感覚	0	0	1			1	(非装備時)	3
精神	0	0	1			1	戦闘移動	8
社会	2	0	0			2	全力移動	16

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	2		交渉		
回避	1		知覚	1		意志			調達		
運転:			芸術:			知識:			情報: 噂話	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
	白兵	11r	4	13		
	白兵	12r	4	16		

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
コネ: 噂好きの友人	

合計装甲: 0    合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイム	消費
『超血統』	P	N		
両親	P 同情	N 隔意		
西路緋那	P	N		
ディアボロス	P	N		
マヤ	P	N		
ほうあ	P	N		
パーガトリー	P	N		

最大財産P: 4    残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
コンセントレイト:キュマイラ	2	2	メジャー	-	-	-	-	
効果:	c値-Lv(下限値7)							
完全獣化	1	6	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果:	シーン中、【肉体】のダイス+[Lv+2]							
破壊の爪	1	3	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果:	素手のデータを変更。攻撃力[Lv+8]、ガード値1							
ハンティングスタイル	1	1	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果:	戦闘移動する。シーン中Lv回							
セントールの脚	1	2	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果:	戦闘移動+[Lv*5]							
鬼の一撃	1	2	メジャー	武器	-	対決	-	
効果:	ガードした敵に+[Lv*5]ダメージ							
フルパワーアタック	5	4	セット	至近	自動	自動	80	
効果:	攻撃力+[Lv*5]、行動値が0になる							
神獣撃	7	2	メジャー	武器	単体	対決	80	
効果:	攻撃力+[Lv+2]D。完全獣化解除							
巨獣の爪牙	1	2D10	マイナー	至近	自身	自動	120	
効果:	メジャー2回行動。1シナリオ1回							
	★							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

「あっちに行った方がいいよ。私と一緒にいてもロクなことにならないから」

「父さんも母さんも私のことを見ようとしなかった。それでも、私は誰に頼らなくとも生きてやる」

【プロフィール】

両横に束ねた紫色を帯びた長い髪と睨みつけるような鋭い目つき、そして背中に背負ったバットケースが印象的な小柄な少女。彼女の両親は暴力的で育児にも無関心であり、日常的に振るわれる暴力の中で自力で自らの身を守りながら生活してきた経歴がある。

そういった環境から逃れるために家出をすることも少なくなかった彼女は、ある日路地裏で不良に襲われそうになる。追い詰められた彼女はその場に落ちていた鉄パイプを取り、半狂乱でそれを振り回して必死に抵抗した。持ち前の運動神経とその体躯に見合わない力を持ち合わせていた彼女は、自身よりひと回りもふた回りも大柄な男達にも止められず、相手に深手を負わせてそれらを退けた。それ以来は常に護身用の金属バットの入ったバットケースを背負うようになり、自身の精神状態も武器になる物を持っているかどうかにかかわらず左右されるようになる。

【パーソナリティ】

基本的に無表情で、無愛想な言動をすることも多い。常に他人への警戒心を強く持っており、誰にも頼らずに自分の力のみで問題を解決しようとする性質がある。しかし彼女が人を遠ざけようとするのは自身の不安定さ故に他人を傷つけるのを避けるためであり、誰に対しても敵意を示すということはない。そもそも自身に好意向けられることについてほとんど慣れていないため、人を避けるのは単純にコミュニケーションが苦手な上手く話せず恥ずかしいからという面もある。